

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 相輝	代表者	會田 雄一	法人・事業所の特徴	通所介護、グループホーム併設 ・その方らしく自由に気持ちよくケアを受ける事ができ、いつまでも笑顔がいっぱい 元気よく楽しい生活が送れるようにトータル的にサービスを提供している。 ・自宅での生活の把握に努め、内服管理を行い健康管理に気を配る。短時間での訪問にて安否確認も行う。電話での安否確認も行う。
事業所名	小規模多機能施設 ひまわり	管理者	小山 広美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援-	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	11人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	アプリ活用を継続し情報共有を行う。	アプリの活用は出来ている。	JANDI に挙げるだけでなく日頃から、情報共有は出来ている。	継続して、JANDI 等で情報共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	衛生委員会を開催できるようにする。 引き続き継続して、コロナ感染対策を行う。	コロナが5類になり、今後の対応策のため、衛生委員会を開催し情報共有が行えた。	衛生委員会を、定期的で開催できるようにする。	衛生委員会の開催、継続してコロナ感染対策を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	外部会議に参加し、地域と関りを持ち情報を把握する。 コロナ禍以前の様に、地域の方が気軽に立ち寄る事業所を目指す。	地域会議に積極的に、参加する機会がなかった。	地域で行事等の情報収集を行い、参加するようにする。	感染状況に応じて地域の行事に参加し、事業所の行事も開催し地域の方にも参加の機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事等に参加し交流を図る。	地域の方との交流とまではいかないが、関りのある方（近隣）との挨拶等は出来ている。	天気の良い日に、事業所の周りを散歩（散策）、敷地内で日光浴等、気分転換を図っている。	感染状況を見ながら地域行事の参加、散歩やドライブで地域に出向く機会を増やす。
E. 運営推進会議を活かした取組み	以前の様に、会議が開催できる状況になるまでは、利用状況等の資料を配布する。	コロナのため、会議が開催出来ず、それに伴い利用状況等資料を配布が出来ていない。	文化祭として、利用者様の作品を展示して、観に来て頂いて、運営状況等の議事録が配布することが出来た。	運営推進会議を開催するように計画をする。（以前の様に開催できるようにしていく。）
F. 事業所の防災・災害対策	今年度も年2回の避難訓練の計画を立てる。 地域で開催される時は、参加できるように調整する。	今年度は9月に行った。	地震・災害を想定しての避難訓練の計画を立てる。	次年度は、地域の方にも参加して頂けるように計画を立てる。